

北海道電力(株) 総合研究所 研究グループ紹介 環境技術グループ

電力設備の腐食診断・対策技術、火力発電所の排ガス処理、石炭灰リサイクル用途の拡大、発電所冷却水の取水障害となる生物への対策などの研究に取り組んでいます。

また、最近はカーボンニュートラルや地域貢献に向けて、これまでに培ってきた“材料・化学・生物”分野の知見や研究ネットワークを活かし、道内でのブルーカーボンや木質系バイオマスの利用推進あるいは農水産分野への展開などにも取り組んでいます。

グループの役割

- 分析技術を活かした電力設備保全や石炭灰リサイクルを推進し、電力の安定供給およびコストダウンに寄与
- カーボンニュートラルに向けたブルーカーボン事業やバイオマス利用の推進
- 農水産分野の知見を活かした地域活性化への支援
- 現場トラブルの迅速な原因究明および設備診断の内製化支援

研究テーマ、代表的な成果

- 火力発電所脱硝触媒の性能評価に関する研究
- 石炭灰を利用した低炭素コンクリート製造技術に関する研究
- 電力設備の着氷雪対策に向けた塗装方法に関する研究
- ブルーカーボン事業に向けた低炭素生物培養技術に関する研究
- 木質系バイオマスの燃料化技術に関する研究
- 農業分野での光利用技術の実用化に向けた研究
- 発電所取水路へのムラサキイガイ類流入低減方法に関する研究



森町産のホタテの貝殻を使用した低炭素藻礁ブロック（左）と藻礁ブロックを用いて培養したマコンブ（右）



ポテライトが明るい環境下でも緑化を抑制することから、搬出入の作業性や安全性が向上したジャガイモ保管庫

保有技術、研究設備、所属学会など

- 腐食防食技術、化学分析技術、生物評価技術（魚介類、植物）、材料加工技術 など
- 質量分析装置、蛍光X線装置、X線回折装置、粒度分布計、分光光度計など
- 腐食防食学会、表面技術協会、火力原子力発電技術協会 など